

# アイデアソンで SCの未来をつくろう・かたろう！

最新テクノロジー（生成AI）とSC経営士の知見を融合し  
ショッピングセンターの未来を切り拓く

## — 成果発表会・開催概要 —

### 【開催概要】

- 実施日時 : 2025年1月22日（水）15：50～17：10  
①基調講演 15：50～16：05 ②アイデアソン成果発表会 16：05～17：10
- 会場 : パシフィコ横浜 アネックスホール [アネックスホール | 施設ガイド | パシフィコ横浜](#)
- その他 : 参加費無料・申込不要・SC経営士以外の方も聴講可能となっております。

### 【基調講演】

小樽商科大学 大学院商学研究科 教授 猪口 純路（敬称略）

『ショッピングセンター業界を視るマーケティング理論のこれまでとこれから』

### 【アイデアソン 4つの発表テーマ】

各テーマに関心のあるSC経営士が会社の垣根を越えて約4か月間のアイデアソンを実施。  
当日は各チームがSCの未来を切り拓く提言を行います。※詳細は次ページ参照

01

マーケ  
ティング

コロナ禍を経て急激に変化する消費マインドに対し、SC運営に求められるマーケティング手法とは？

02

テナントと  
DVの関係

リアルの価値が変容する中、テナントがSCに求める価値とは。またDVがテナントに求める価値、提供価値とは？

03

地域連携

過当競争期にあるSC業界において、地域との合意形成手法や具体的な連携イメージとは？

04

ESG

施設・企業の持続的な繁栄のため、“事業”としてESGを捉え、ESGの経済価値を可視化する手法とは？

協力会社：株式会社VIG（Vision Incubate Group）

### 【コメンテーター】

小樽商科大学 大学院商学研究科  
教授 猪口 純路



小樽商科大学卒、神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程。修士（商学・神戸大学）広島市立大学国際学部准教授を経て、2012年より小樽商科大学准教授、2015年より小樽商科大学、大学院・商学研究科アントレプレナーシップ専攻、教授。

一般社団法人日本ショッピングセンター協会  
SC経営士会 会長 藤木光広

（イオンモール㈱ 専務取締役 管理担当）



イオンモール株式会社入社以来、主にショッピングセンターの管理・運営およびリーシング業務に従事し、現在は管理担当専務取締役として、地域共創を支える人材育成などに取り組む。2020年5月から（一社）日本ショッピングセンター協会 SC経営士会会長に就任し、現在に至る。

一般社団法人日本ショッピングセンター協会  
SC経営士会 副会長 三輪美恵

（㈱JTB 常務執行役員 地域交流・CX推進担当）



東日本旅客鉄道株式会社入社。商業施設の開発・運営、コンサル、新規事業、海外事業、品川大規模開発などの仕事に取り組み。2017年東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 事業創造本部部門長、2022年6月より株式会社JTB常務執行役員就任。地域交流とCXを担当。

## 01. マーケティング

タイトル	SC 運営におけるマーケティングの「虎の巻」：AIを活用した運営サポートツールの開発	
テーマ	SCは規模の拡大や人手不足を背景に、より効率的な運営が求められています。そのノウハウは属人的で蓄積、体系化されていないと想定されます。ノウハウ蓄積する仕組みと営業データ分析にAIを活用したツールを開発し、SCとスタッフが成長する未来を目指します。	
メンバー	廣島兼太郎 佐野元亮 松下雄一 塚本晋一 土屋李子	大和ハウスリアルティマネジメント株式会社 株式会社リゾーム 三菱地所株式会社 株式会社bird 株式会社ルミネ
サポーター	株式会社ジェイアール東日本都市開発 齋藤 彰	

## 02. テナントとディベロッパーの関係

タイトル	クロスサポート～SC特化型 人財マッチングサービス～	
テーマ	テナントから人口減により店舗スタッフが集まらず営業を継続できない、出店できないという声が増加している。顕在化しているテナントの「人財難」に、多様な人材がリアルに集まる強みを持つSCならではの解決方法を提案する。	
メンバー	羽尾京士 石川直樹 熊井友和 大熊則宏 廣瀬快児	イオンモール株式会社 イオンモール株式会社 株式会社博多ステーションビル 株式会社ジェイアール東日本都市開発 株式会社丸井
サポーター	株式会社トリニティーズ 中山 亮	

## 03. 地域連携

タイトル	『SC型地域連携合意形成ツール』の活用による地域連携の深化、最適化	
テーマ	長期に渡って地域と共生する。そのために、「地域との関係性を強化」し、「地域との意思疎通力の強化」を図ってゆく必要がある。地域のステークホルダーが私たちSCに寄せる期待や要望等を適宜收拾しAIを用いて合意形成を獲得するシステムを提案し、SCの未来を創造する。	
メンバー	大島俊明 佐藤ちひろ 南部卓也 蓮池美砂絵	西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社 大和リース株式会社 株式会社新都市ライフホールディングス 東急株式会社
サポーター	株式会社イマジネーションプロみなみかぜ ハーレイ・岡本	

## 04. ESG

タイトル	SCにおけるESGの経済価値への可視化	
テーマ	世界で注目の高まる企業のESGに対する取組み姿勢。日本でもGen Zを中心にESGの観点は個人の消費感度にまで影響を与えており、生活の質と密接に関わりつつある今、生活を豊かにするSCこそ、お客さまの様々な消費のシーンでESGを感じられるように事業に反映すべきと考える。そのために、経済価値化することが難しいESGに関する取組みを可視化し、事業反映しやすいシステムをAIを活用して構築したい。	
メンバー	舘澤瑛美 佐藤勝彦 若狭美穂 大當充仁 桂智史	イオンモール株式会社 住商アーバン開発株式会社 野村不動産株式会社 JR西日本山陰開発株式会社 JR西日本京都SC開発株式会社
サポーター	株式会社プレイド 徳山 正実	